

山犬段から沢口山

2012年11月4日(日)

メンバー：池田T

ブナの紅葉を期待して山犬段から沢口山を往復した。

結果、予想以上に楽しめた。ブナはもちろん、カエデ類、カラマツ、ダケカンバなど色とりどりの木々に癒された。

ルートは良く整備されている。うつなし峠から東側が広い尾根で踏み跡が不明瞭になるが、赤ベンキはたくさん付けられているので、道迷いの危険は少ないと思う。

山犬段への林道は大札山森林公園から先がダート。結構凸凹しているので乗用車では相当注意して徐行しないと車の底をこすってしまう。山犬段の広い駐車場には車が1台だけ停まっていた。支度をしてまずは八丁段を目指して出発。

駐車場の北東からコンクリで舗装された道路が出ている。300mぐらい進むとゲートがある。さらに400mほど進んだ所に八丁段への登山口がある。道路はこの先、"ホーキ筵"の治山工事の現場まで山の斜面をトラバースして続いている。自分は登山口から入って八丁段経由で行くことにする。



山犬段駐車場のすぐ南の展望地。朝日に照らされる木々。



八丁段展望広場。正面はブナの木。

途中で"展望広場"への分岐があったので、そちらに進んだ。なるほど展望が開けた広場があって、立派なブナの木が迎えてくれた。広場からは蕎麦粒山や大札山が良く見える。広場を出て八丁段の頭への道に戻るとこれまた立派なブナの木が迎えてくれた。



蕎麦粒山



四方に枝を伸ばすブナの木

八丁段の頭(1562m地点)は周囲がなだらかなので標識が無ければピークとは気付かない。展望も無い。そこを越えるとだんだん下りになり、ガケの上に出た。"ホーキ筵"である。



八丁段の頭。周囲の展望は無し。



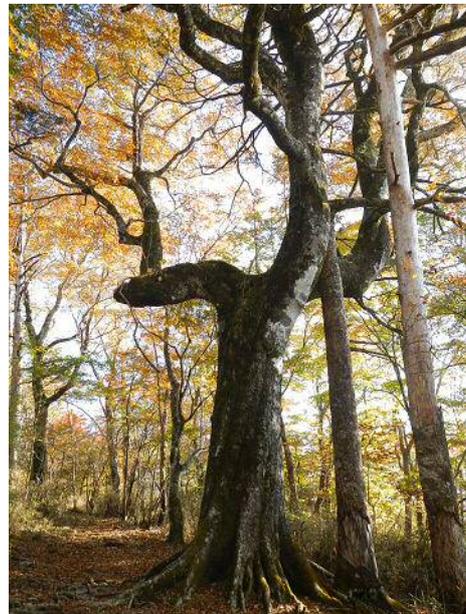
ホーキ糺 治山工事が続いている。

ホーキ糺は今も崩れ続けている。自分が歩いている時も小石がバラバラ崩れていた。急な斜面を降りると山犬段から延びている道路に出会う。治山工事の現場である。工事現場を少し歩いて再び山の中に入る。

緩い下りが平になってくるとやがて広河原峠。南東側には道があるが(地形図には記載されていない)、北西側は笹藪で道は跡形も無い。そこから緩い登りになるが、板取山の手前300mぐらいのところでブナの巨木があった。胸高直径で約1m。このブナに限らないが、木肌にコケが生えているので日本海側のブナのように色白ではない。色黒で枝の張り方といい、なんとなく男性的である。



標高1387m地点。広河原峠。



ルート中で見た中で最も大きいブナの木。

板取山の山頂は北側だけが開けている。大無間山、大根沢山などの深南部の山々、その奥には聖岳も見える。その次のピークは天水である。ここも北側の展望が開けている。今日の目的地である沢口山とその奥に富士山を望むことが出来た。



天水の山頂から北側の眺め



どうみても峠とは思えない斜面の途中にある標識。

うつなし峠を通り過ぎて1314m地点からしばらくは尾根が広がって踏み跡が薄くなってくる。とはいえ10mぐらいの間隔で赤ベンキがあるので迷うことはまずない。



ミズナラと見られる木の黄葉



尾根が広くて踏み跡が薄い、赤いマークはたくさんある

沢口山には寸又峡から登ってくる人がいると思ったら誰もいなかった。静かな山頂で展望を楽しむことが出来た。復路は往路よりもゆっくりとしたペースで森の雰囲気を楽しみながら歩いた。



ハウチワカエデ?の紅葉



帰りは八丁の頭を通らずに道路で山犬段に戻った

浜松から比較的近い所にこんなに楽しめるルートがあったとは。機会があれば再訪したい。

<タイム>

山犬段6:30 - 板取山7:45 - 沢口山9:00 - 板取山10:35 - 山犬段12:45

以上